

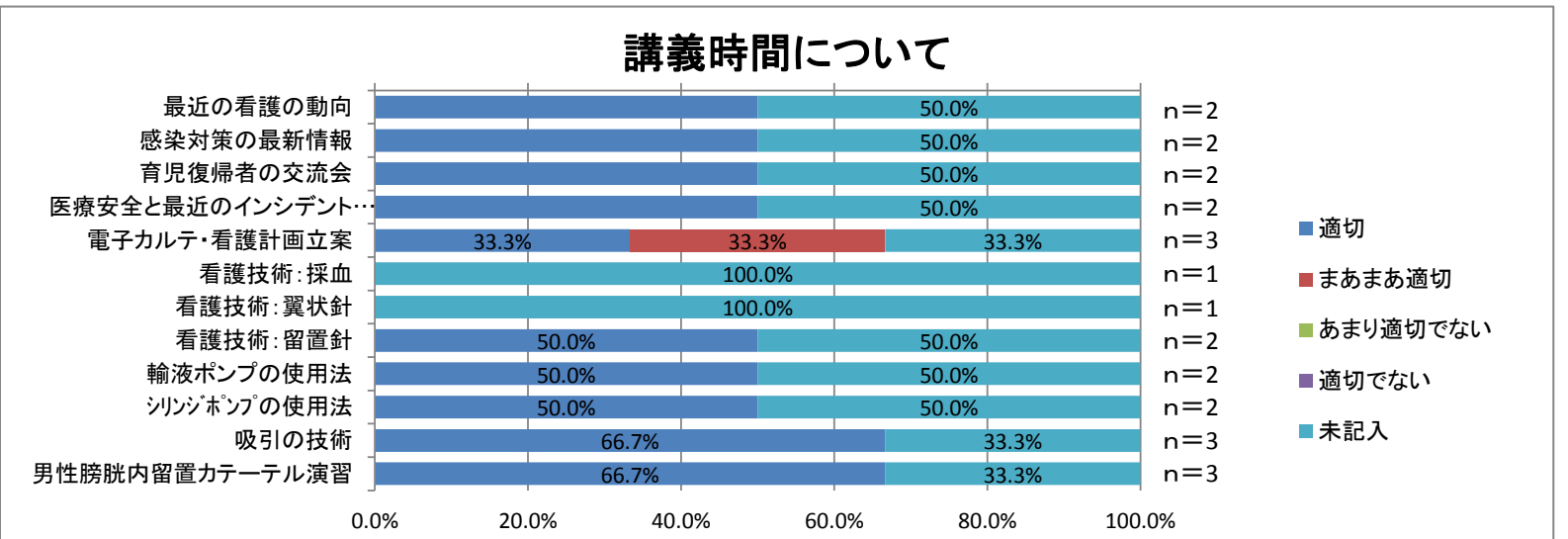
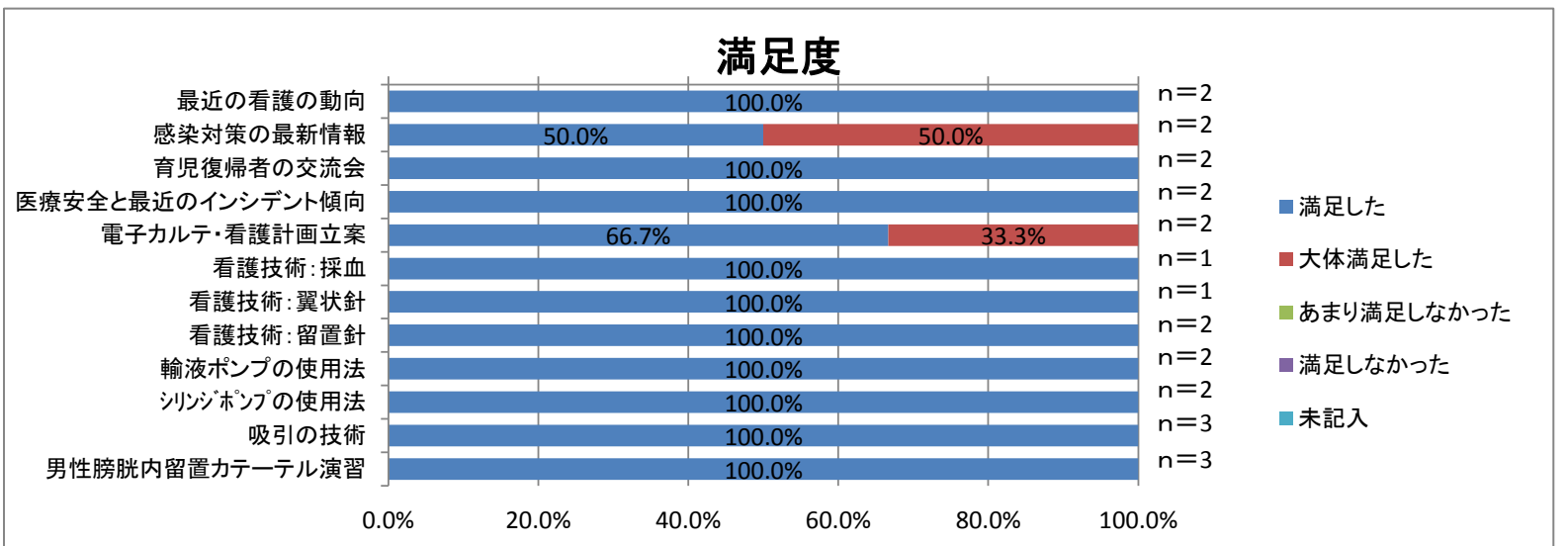
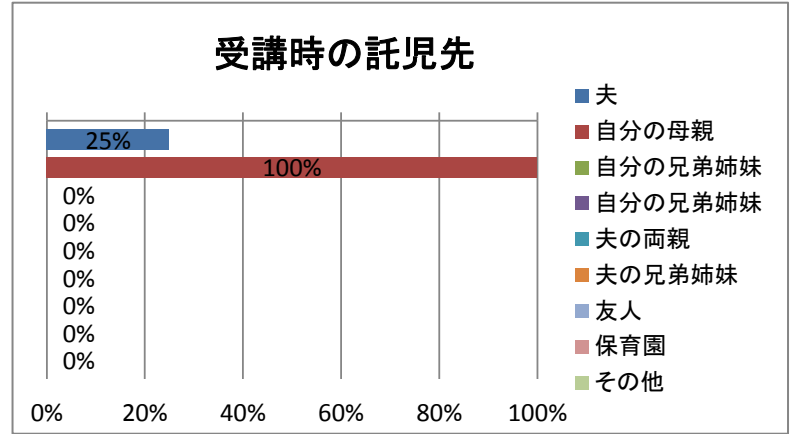
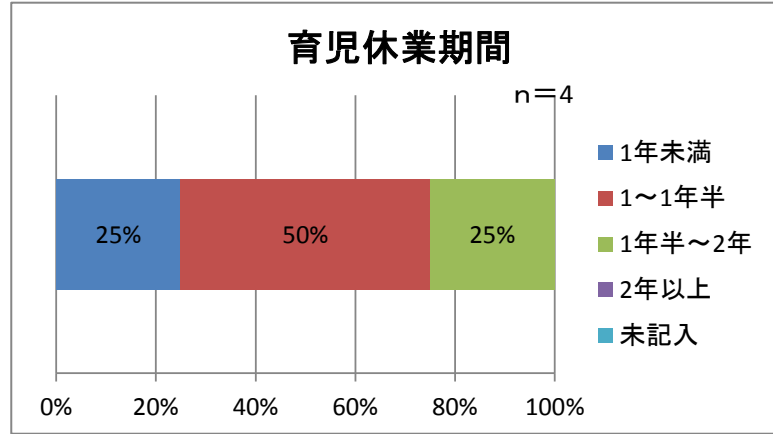
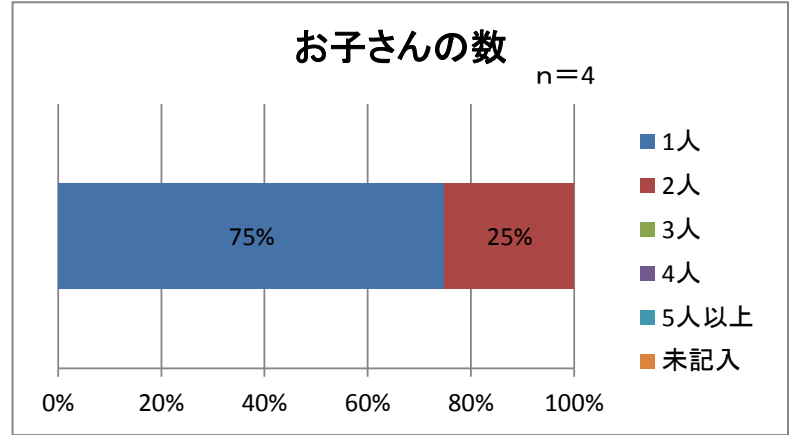
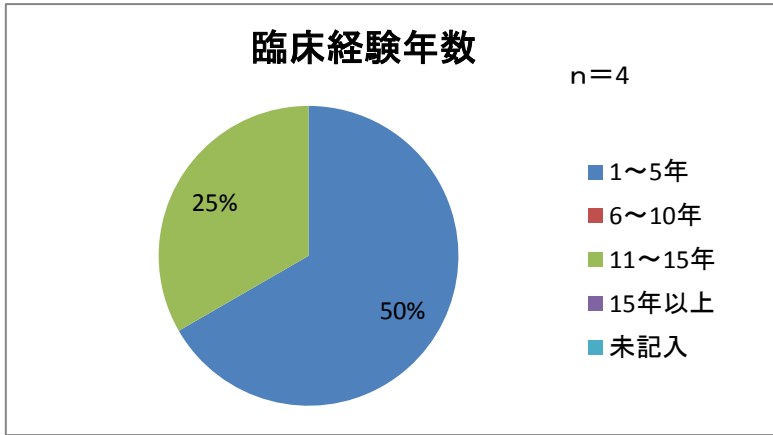
育児復帰支援スクール:アンケート結果

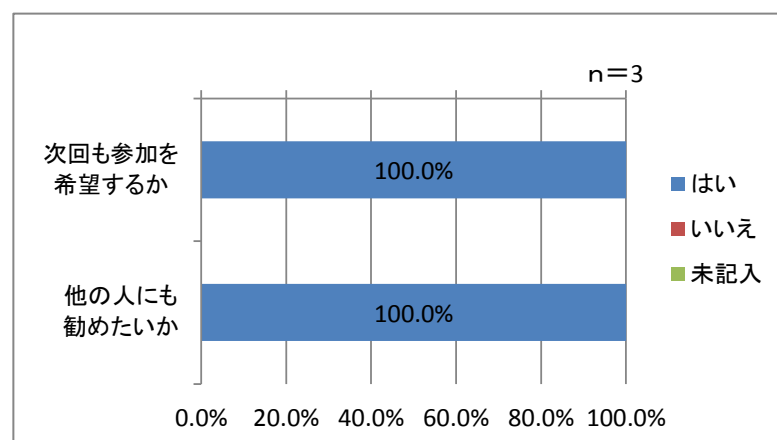
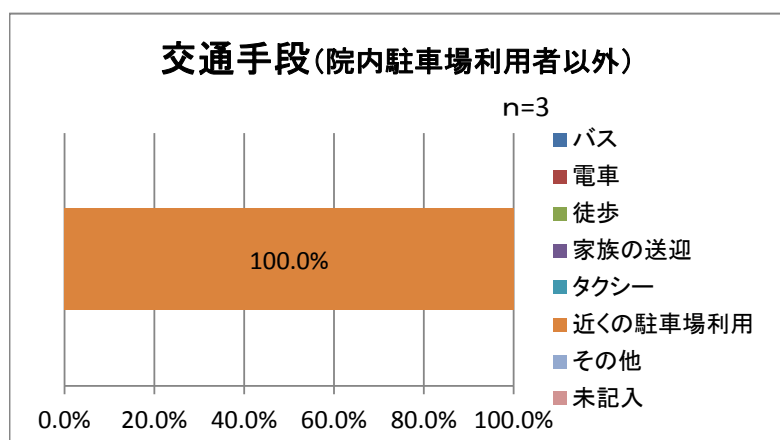
2017/1/10

日程:平成27年6月24日(水)、25日(木)

時間:1日目 10:00~15:50 2日目9:30~14:10

講師:宮崎副看護部長、寺坂副看護師長(感染制御教育センター)、齋藤看護師長(安全管理)、岡田看護師長(医療情報)
田下看護師(シミュレーション室)、看護研修センター





■ 受講動機

- ・経験が浅く自信が無い。患者さんも困るだろう。気持ちを高めるため
- ・不安だから
- ・カルテが変わったと聞いて不安だったから

■ 今回の復帰支援スクールの感想・ご意見・改善点など

- ・復帰に対する不安があり、支援スクールがあると知り迷わず受講してよかったです。技術面は心配だったので、今回実践して、感覚を少し取り戻せたかなと思いました。項目ごとになっていたのが、受講しやすく、時間も30分と適切でとても良かったです。ありがとうございました。
- ・休暇中に看護体制の強化、新システムの導入があり、日々、看護・医療が変化している事を感じました。PNSについても産前は導入して間もないこともあり、自分自身、PNSの考え方を曖昧にして看護をしていました。今回、再度PNSを学び、チーム医療をスムーズにするためにはタイムリーな記録が必要であり、PNSをスムーズに進めるためにはパートナーシップマインド、パートナーとの密な声かけが必要であることを強く感じました。特に声かけは必要であると頭の中では理解していても、忙しくなるとついつい自分の仕事に気を取られて声かけが少なくなります。常に意識して行わなければならないなど実感しました。感染や安全管理では忘れていたこと、注意しなければならないことを思い出すことができました。
- ・私が一番不安であったのが電子カルテと看護計画でした。患者参画型看護計画立案方式が考えられた経緯と記録を短縮してできる限り患者さんのベッドサイドに行き話を聞き、寄り添い、看護部の理念である安心と信頼を得られる看護に通じる説明を聞いてからシステム説明があったため、看護計画の必要性、記録の短縮の必要性を実感し、スムーズに看護計画について理解できました。また、交流会では、復帰後の家庭、仕事の両立のための良いアドバイスが聞けて安心につながりました。復帰に向けてこのスクールを企画して下さい、本当にありがとうございました。
- ・1年以上休職していたら、カルテなどのシステムも変更になっており、不安をかんじていたが、復帰前に実際にカルテに触れたり技術を見直すことで少しではあるが、自信につながる事ができた。子供を預けることができず、すべてに参加できず残念であった。
- ・受講をきっかけに自分が忘れていたことを自覚する事もでき復帰に向けた自己学習の意欲にもつながると感じました。電子カルテシステムについては、実際の操作入力の不安が大きいため実際に入力する方法と検温等日常業務でよく使用するページの開き方の確認ができると尚、良いのではないかと思います。休業復帰者の方からの生の声が聞ける交流会は、自分が今不安に思っている事にも共感して下さった上でアドバイスを頂けたので背中を押されたようでした。駐車場や託児等も整うと参加したいという方も多いと思います。お忙しい中、貴重な学習の場を下さり本当にありがとうございました。